



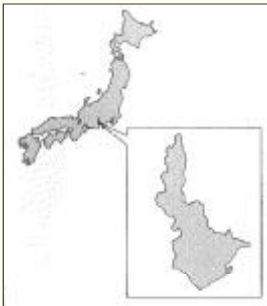
部活動の質を向上させる 静岡市の部活動改革

～ガイドライン、外部人材の活用等により、
生徒の競技力向上と教員の働き方改革を両立する～

資料2-1 静岡市教育委員会提出
資料



静岡市の概要



平成17年4月1日に全国で14番目の
政令指定都市になる

総面積: 1,411.90km²

人口: 総数707,202人

葵区: 255,661人 駿河区: 211,386人 清水区: 240,155人
(平成29年7月末現在)



市内全43中学校、生徒数15,733人 (平成29年5月1日現在)

静岡市の教育2017より

全部活動数472、加入率82% (平成29年8月1日現在)

平成29年度静岡市立中学校部活動実態調査より



説明の概要

- 1 静岡市立中学校部活動ガイドラインの概要
- 2 部活動活動日・活動時間の設定～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～
- 3 外部指導者の活用 ～指導者の資質を向上させる～
- 4 静岡市立中学校部活動ガイドライン策定スケジュール
- 5 今後の取り組み



1 静岡市部活動ガイドラインの概要

静岡市のこれまでの現状

これまでは、[校長会の委員会](#)が定めた「[静岡市立中学校部活動申し合わせ事項](#)」により活動

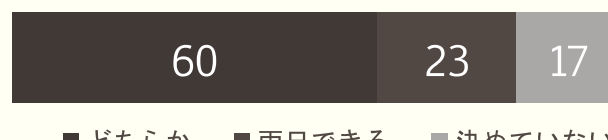
平日活動日（％）



■ 週3日 ■ 週4日

43校中31校が平日3日、12校が平日4日の活動をしている。

土日活動日（％）



■ どちらか ■ 両日できる ■ 決めていない

43校中26校がどちらか1日の活動、10校が両日できる、7校が特に決めていないとしている。

平成29年8月「静岡市立中学校部活動実態調査」より

1 静岡市立中学校部活動ガイドラインの概要

静岡市のこれまでの現状

部活動顧問をしている教員の割合（％）



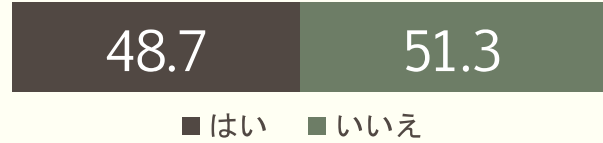
競技経験がある教員の割合（％）



指導に自信がある教員の割合（％）



土日に十分な休養をとれている教員の割合（％）



平成28年度静岡市総合教育会議「部活動指導実態アンケート（平成28年8月実施、抽出9校）」より

1 静岡市立中学校部活動ガイドラインの概要



○部活動の意義・目的

- ・ 人間形成
- ・ いきいき3視点

○部活動指導の5原則

- ・ 生徒が主人公
- ・ 体罰暴言禁止
- ・ 適切な活動量
- ・ 安全管理の徹底
- ・ 生徒も指導者も達成感

○部活動活動日・活動時間の設定

- ・ 活動日 週4日
- ・ 部活動なしの日
- ・ 活動時間

○外部指導者の活用

- ・ 外部顧問
- ・ 外部指導員

○所属

- ・ 自由参加
- ・ 特例(合同・エリア制)

○事故対応、組織運営、設置改廃等

2 活動日・活動時間の設定 ～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～



部活動活動日・活動時間の設定

○活動日 週4日

平日：原則として火曜日、水曜日、金曜日

週休日：土曜日又は日曜日どちらか一日

○部活動なしの日 年間6日程度

市一斉：5月第3土曜日、11月第2土曜日、12月第1日曜日（地域防災訓練の日）

各中学校ごと：年間3日程度

○活動時間

ひと月の常時活動の合計時間※1を、1年間の平均が月45時間程度まで

※1) 平日（16:45以降）と週休日を合わせた、長期休業を除く活動時間

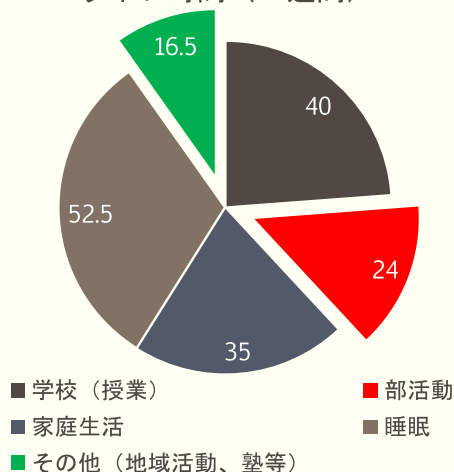
2 活動日・活動時間の設定 ～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～



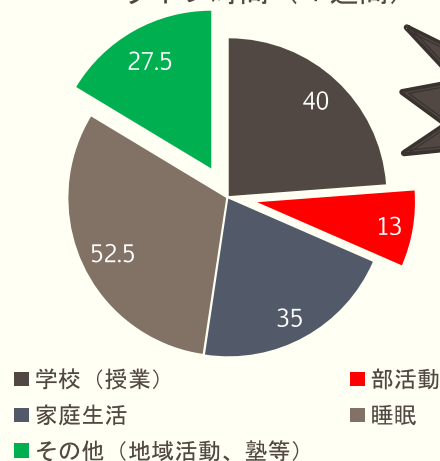
意義1：生徒のSTUDY/SPORTS/SOCIETYのバランスを図る

○ 現状 ・4月に週6日行った場合(土日両日8時間) ○ 静岡市ガイドライン ・4月週4日(土7時間)

ライフ時間（1週間）



ライフ時間（1週間）



部員増加
の例

2 活動日・活動時間の設定 ～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～



意義 2 : 生徒がより効率的練習を志向できる

○ 上限時間の提示による量的目安の設定

* 上限45時間は、H29年度の「実例」と「シミュレーション」より算定

月	M中実例	シミュレーション
4月	42.0 h	43 h
5月	43.6 h	49 h
6月	51.0 h	49 h

生徒が時間的な目標・活動を共有して練習する

○ ガイドラインを基準に各校が練習計画を作成し、活動日・活動時間を明示する

- ・ 学校の全体計画
- ・ 部活動部長(生徒)会
- ・ 部活動顧問者会
- ・ 部活動保護者会

2 活動日・活動時間の設定 ～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～



意義 3 : 競技団体や民間等の他組織との連携により 生徒は、さらなる競技力を望むこともできる

○ より親しみたい場合…

- ・ 静岡市体育協会、地域との連携

種目	体育協会主催
陸上競技	ランニング教室
バスケットボール	バスケット教室等
バレーボール	バレー教室等
卓球	卓球教室
ソフトテニス	ソフトテニス教室
柔道	柔道教室
剣道	剣道教室
バトミントン	バトミントン教室

○ より向上したい場合…

- ・ 民間や競技団体との連携 * 部活の休日や活動時間が明確になる

種目	民間、道場、競技団体	協会、連盟等による選手強化
陸上競技	陸上教室等	選抜チーム設置
バスケットボール	民間クラブ等	トレセン、選抜チーム設置
バレーボール	民間クラブ等	トレセン、選抜チーム設置
卓球	民間クラブ等	強化練習会開催
ソフトテニス	民間クラブ等	選抜チーム設置
柔道	民間の道場	トレセン設置
剣道	民間の道場	強化練習会開催
水泳	民間のスイミングクラブ	強化練習会開催
バトミントン	民間クラブ等	強化練習会開催
吹奏楽	個人レッスン	
サッカー		トレセン設置
野球		技術講習会、硬式野球教室設置

2 活動日・活動時間の設定 ～生徒の意欲を高め、人間形成に資する～



意義4：生徒の主体的な参加をより一層促す



○ 部活動の所属は、自由参加を原則とする
特例として、合同チーム、エリア制部活による参加→生徒のやる気を尊重する

・合同チーム…小規模校、少人数でも継続活動

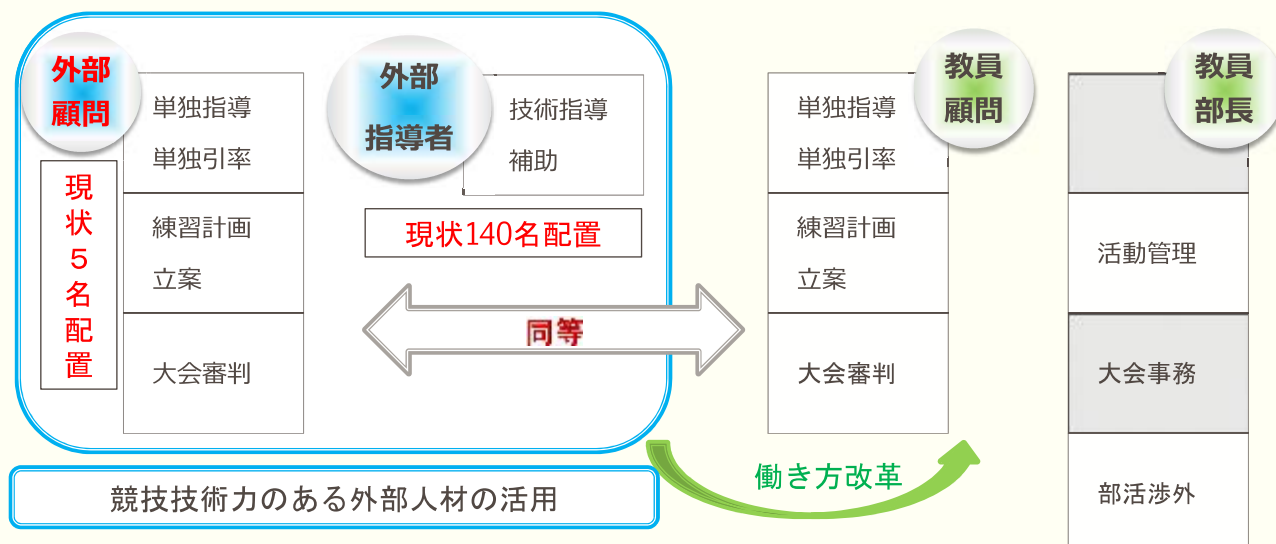
・エリア制…施設集合型：指導者施設が揃う部活の充実

日常分散型(休日に集合)：文化部の充実

3 外部指導者の活用 ～指導者の資質を向上させる～



部活動指導員の体制を整備





3 外部指導者の活用 ～指導者の資質を向上させる～

教育委員会が「ライセンス」を付与した者を外部顧問として任用

○講義・演習等による研修【7時間】

○実地研修【1ヶ月程度】

内容	時間・形式 講師（例）	確認方法
教育における部活動の役割	60分・講義 学校教育課指導主事	テスト
学校における事故発生時の救急体制	60分・講義 学校教育課指導主事	テスト
部活動及び学校現場における安全確保	60分・講義、演習 救急救命士	テスト
部活動における生徒指導の在り方	60分・講義、演習 学校教育課指導主事	テスト
社会に開かれた部活動の在り方	60分・講義、演習 静岡市中体連会長	レポート
日々の指導に活かすコーチングスキル	60分・講義、演習 清水エスパルス	テスト
部活動指導に活かすトレーニング理論と方法	60分・講義、演習 有識者	レポート

内容	確認方法
各競技団体による実技講習	実地観察
実習視察	実地観察
静岡市部活動外部顧問への期待	
総括的評価	面接



人材の発掘（企業等、大学・専門学校等、競技団体、小学校等）



3 外部指導者の活用 ～指導者の資質を向上させる～

教育委員会が教員顧問を対象に年4回の研修を新規開催

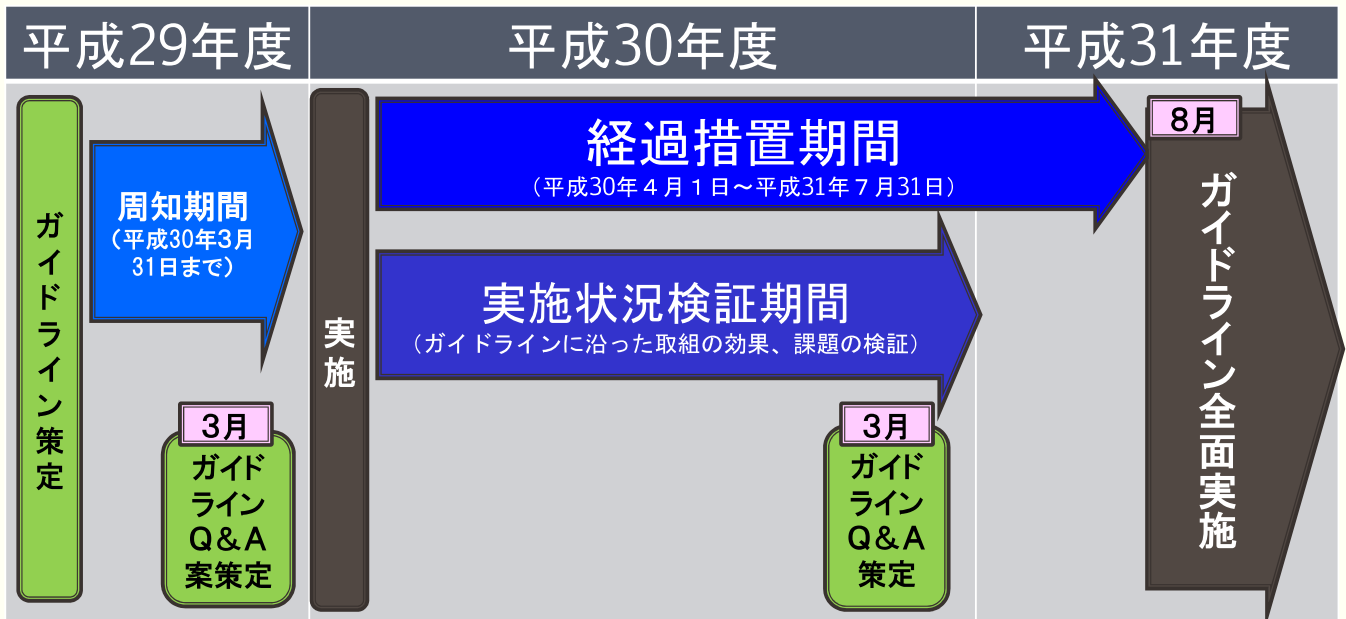
○競技力・コーチングに関する内容の充実

	内容	講師例
野球	競技理論と指導者育成	六大学監督
陸上	目標設定とコーチング	駅伝監督
サッカー	効果的な練習方法	Jリーグ関係
ラグビー	競技力と人間形成	高等学校監督

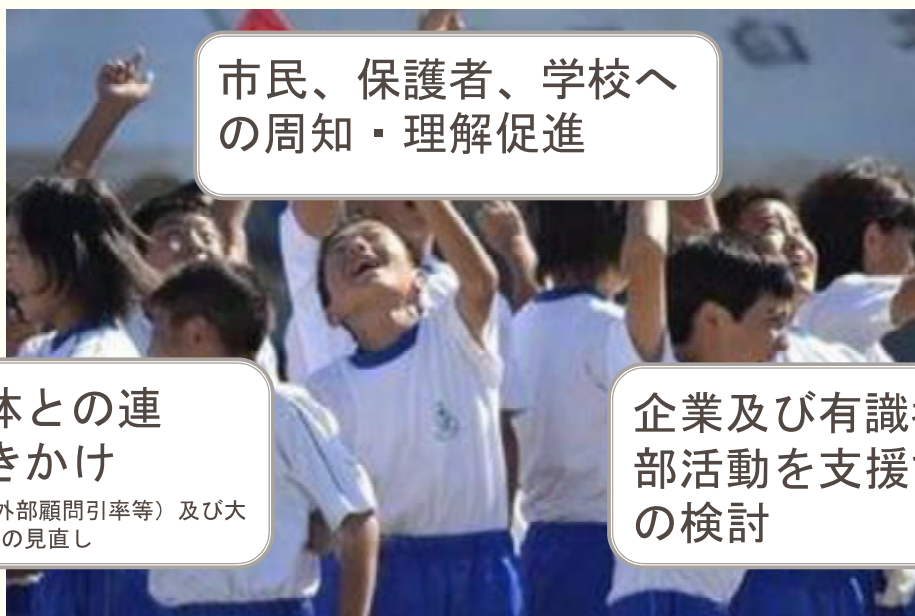
○科学的・効率的指導に実績ある講師を招聘



4 静岡市中学校部活動ガイドライン策定スケジュール



5 今後の取り組み



市民、保護者、学校への周知・理解促進

各種団体との連携、働きかけ

・大会規定(外部顧問引率等)及び大会数、大会規模の見直し

企業及び有識者等による部活動を支援する仕組みの検討